

皆さん、こんにちは。

伊豆の国市2月定例記者会見にご参集いただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルスの変異株、いわゆるオミクロン株による急速な感染拡大を受けて、1月27日、静岡県内に「まん延防止等重点措置」が発出されました。市内でも、連日感染者が報告されています。市立学校での感染者も出ていることから、必要に応じて学級閉鎖などの対策を実施しているところです。また、市役所職員の中でも、散発的に感染が確認されており、感染者の自宅療養や職場の消毒作業など、対策を徹底しつつ、市民サービスが低下しないよう業務の継続に努めております。

重点措置の期間が延長された13都県に加え、静岡県においても期間が延長となる見込みです。その一方で、全国的な感染の波はピークを越えたという観測も出てきているようです。今後、減少傾向が加速していくのかどうか、状況の推移を注視していきたいと考えております。

3回目のワクチン接種については、引き続き接種券を送付しており、予約いただいた方に対し順次接種を進めております。私自身も、2月23日に韮山福祉・保健センターにてモデルナ社製のワクチンを接種する予定です。

このような中、1月22日・23日の「第16回パン祖のパン祭」や、1月30日の「第57回鶴ばらい祭」が無事に開催されました。感染予防に細心の注意を払って運営された関係者の皆さまの努力に敬意を表しますとともに、コロナ禍においても社会・経済・文化活動を継続していくことの大切さを改めて感じた次第です。

1月15日にオープンした伊豆の国大河ドラマ館ですが、おかげさまで順調に入館者数が伸びており、2月15日現在、16,644人となっています。まん延防止等重点措置適用中ということもあり、同時に入館する人数の制限など、徹底した感染予防対策を取りつつ、多くのお客様にご覧いただいております。今後、感染が収束してくるにしたがって、さらに大勢の皆さまにご来館いただけるものと、期待しています。

さて、1月1日現在の伊豆の国市の人口動態が、県内の市町で唯一プラスとなりました。東京圏から本市への移動者数及び割合が、2021年は過去最高となっていることから、全国的な「東京離れ」の傾向が本市にも波及していると推測できます。今後も、移住定住対策に積極的に取り組み、定住人口の増加を目指してまいります。

【伊豆の国市に関わる最近の出来事】

1月20日（木）	65歳以上市民の3回目ワクチン接種予約開始
1月22日（土）23日（日）	第16回パン祖のパン祭
1月30日（日）	第57回鶴ばらい祭
2月1日（火）	伊豆の国大河ドラマ館入館者1万人達成
2月5日（土）	モンゴル伝統文字書道体験会